

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス みそら		
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日		～ 令和7年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	70	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	令和7年10月15日		～ 令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の建物が自己所有で、十分な広さの園庭も備えている。周辺住民からの騒音等についての苦情を気に掛ける必要もない。	事業所周辺の様々な環境を活用して、季節を感じたり、自然と接する機会を作り、五感を刺激するような体験機会を提供している。	今後も建物設備等の管理点検を徹底して、必要な修繕や設備等の更新に努め、ご利用者様にとって安心安全で快適な事業所づくりを行う。 事業所周辺や地域の社会資源、自然環境等に目を向け、感覚を刺激したり、様々な経験を積み重ねて個々の成長が促進できるように活動内容を検討する。
2	常勤職員のうち半数以上が強度行動障害研修の基礎研修の受講を終了しており、サービス管理責任者は、実践研修を終了している。	強度行動障害の児童・学童が、先の見通しを持ち、混乱せず安心して過ごすことができるような支援方法を検討し、実際の支援に活かすように心掛けている。	児童・学童等の成長や変化を的確にとらえ、その成長や変化に合わせた支援ができるように、ていねいにアセスメントや記録を取り、子どもたちが楽しく過ごす中で、自信を持ったり、自己肯定を獲得していけるプログラムを作成して、経験を積み重ねられるように支援する。
3	経験豊富な外部講師をお招きして、グループごとの音楽療法を実施している。音楽療法を楽しみにしている児童学童も多く、通常の活動では見られない表情が見られる。	音楽療法のプログラムの内容は講師にお任せしていますが、季節や時季に応じた楽曲を楽しめるように進めながら、行動療法として、音楽を楽しみながら、今自分に求められていることや役割を正しく理解して、場面にあった適切な行動が行えるように取り組んでいます。	音楽を好きな児童・学童は多いため、音楽を楽しむ活動も検討して行う。 音楽療法のプログラムで、通常の活動でもアレンジして取り組める要素については、活用方法を検討し、実施する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	全職員が参加する会議の機会が少なく、申し送りノート等での情報の周知に頼っている部分が多い。	午前中に児童発達支援、午後は放課後等デイサービスのプログラムを実施しており、送迎の業務が午後に入っているため、職員全員が介しての会議の実施が持ちにくい。	毎朝、連絡事項等を勤務職員で確認する機会を持つ。 また比較的時間に余裕のある土曜日の夕方に会議の時間を設ける。 利用者個人に関係しない内容で、事業所全体に周知が必要な要件については、事務所への掲示や申し送りノートにて徹底を図る。 個人に関係することについては、個人の支援記録の確認と、口頭での伝達を徹底して行う。
2	外部研修に参加する機会を十分に確保できていない。	職員数が少なく、現場対応の職員を優先して確保すると、外部研修に参加する機会を作りにくい。	比較的時間に余裕のある土曜日の夕方に会議を設定し、できるだけ多くの職員の参加機会を確保する。 各種オンライン研修などを活用する。研修情報等は、最新の情報を回覧し、希望者を募る。 各職員に研修内容の希望を聴取し、参加調整を行う。
3	送迎のニーズは高いが、保護者とのコミュニケーションの機会を優先しているため、基本的には平日のお迎えだけの対応となってしまう。また、児童発達支援については、送迎サービスは実施していない。	保護者との丁寧な情報交換は重要で、有効な支援方法の一つではあるが、家庭の状態によっては送迎が欠かせない場合もある。	保護者送迎が難しい場合は、相談の上で送迎の対応を行うとともに、状況を確認しながら、送迎体制の見直しについても検討したい。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童デイサービス みそら
------	--------------

公表日 2026年1月19日

利用児童数 2025年4月1日

回収数 76

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	45	1			十分に確保されている 活動のスペースは広いと思います	法令を遵守したスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	38	1		7	一人一人に目が届くよう配置数は適切な 人数です 何人配置されているのかわかりづらい	常に法令で定められている人員以上の職員配置をしています。合わせて経験豊富な児童支援員を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	43			3	子どもに分かりやすい環境になっている 視覚的に分かりやすい写真カードも使用 していただきありがとうございます	口話でのコミュニケーションと併せて、写真やカードなど視覚支援のツールを補助的に使用しています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44			2	子ども達が活動しやすい空間と環境に なっている	活動終了毎に消毒・清掃を行い清潔な状態を保っています。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	3		3	受けている 子どもの興味あるものを使用し、子どもが苦手な活動でも参加できるように考えて実践していただき、ありがとうございます	正規職員3名のうち2名と非常勤職員1名は強度行動障害支援者研修基礎研修、サービス等管理責任者は実践研修を終了しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	42			4	合っている	発達の状態に合わせて、個々の発達と成長を目指した支援プログラムを検討しています。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	3			作成されている	小集団活動を中心に支援計画を作成しています。その中で個々に応じた個別の関りや支援内容を組み込んだ計画を立案しています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	41			5		特に児童発達支援では、5才児グループ、4才児グループを構成し、小学校にスムーズに進級できるように取り組んでいます。高校生は、外出プログラム等を通して、社会性の獲得・伸長を目指しています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43			3	計画に沿った支援が行われている	支援計画に沿った支援に努めています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	2		3	工夫されている 子どもが飽きないようにプログラムを考 えてくださっているのがありがたい。	毎月予定表を作成し、発達に合わせた課題と共に四季折々の活動内容を取り入れるようにしています。積み重ねが必要な課題や活動は、必要に応じて内容を固定化して取り組んでいます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	17	23	月1の利用のためウチは無し 今は必要だと思わない	公園等への外出の際に、関わる機会はありませんが、特に実施できていません。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	41	5			丁寧な説明があった	契約時に丁寧な説明を心がけています。法改正等で変更がある場合はその都度説明し同意書を頂いています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42	2		2	支援内容の説明を丁寧にしていただいた	個別支援計画の更新の時期には、必ず支援計画書に基づき保護者に支援内容を説明しています
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	2	13	23	参加できない日ばかりなので分かりません	高校3年生と、前年度支援学校を卒業された方を対象として、障害年金の学習会を実施しました。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	39	6		1	利用する際その日の状況を伝えていただいている いつも色々な事を聞いてくださり、アドバイスくださりありがとうございます	お子様の発達の状況や課題について確認し認識を共有しています。活動終了後に支援内容及びお子様の様子を伝えていきます
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	7	6	2	急なご相談でも、お時間を作ってください ありがとうございます いつも相談に乗ってくださっています	基本的には活動日に活動の様子だけでなく、様々な情報交換や、ご相談の対応を心がけています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	40	1		5		職員は子どもと一緒に活動や遊びを楽しみながら、できた、やったの体験を積み重ねて、達成感を得たり、自己肯定感を高められるような支援を心掛けています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	15		14	17		保護者会等の開催はしていません。ファミリープログラムを通して、保護者・兄弟参加の交流の場を提供しています。また、児童発達支援の方は、昼食後、保護者同士で話をする場を提供しています。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	2	3	9	何時でもいねいに対応してくださっているのがありがたい	契約時に苦情受付担当者、苦情解決責任者等苦情対応の説明をしています。第三者委員会を設置し、苦情対応に備えています。事業所入口に掲示して周知に努めています。	
20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	41	2		3		日々の活動の後、直接保護者にその様子を対面して伝えるようにしています。子どもに対しては、写真や絵カードなど様々な視覚支援のツールを使用しています。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	3	4	11		毎月行事予定表を配布して活動内容の周知に努めています。また活動の様子は、保護者向けのオンラインアルバムにより、閲覧購入ができるように取り組んでいます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	4		6		職員を雇用する際は、個人情報の取扱いに十分説明を行ったうえで、個人情報に関する誓約書の提出を義務としています。個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	3	1	15		各マニュアルをいつでも閲覧できるように事務所内で管理しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	1	1	20		火災、津波を想定した避難訓練、水消火器による消火訓練を定期的に実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	39	2		5		安全を確保するための計画については周知できていません。年に2回感染症の研修を実施している他、安全計画と各種マニュアルと書式を整備しています。また月1度安全点検と感染症対策に関するチェックを実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38			8		ヒヤリハットを大切に、重大な事故につながらないように職員間での共有を心掛けるとともに、事故等が発生した場合には、保護者に丁寧に説明するようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	45	1			笑顔で過ごす時間がとても増えたと思います。活動は子どもの様子に合わせてもらっているの、状況が分かりやすく、乗り回してしまい、困ったことをすぐに相談でき、いつも助かっています。ありがとうございます。	安全で安心して過ごせる場であることを大前提にして、楽しい!もつとやりたい!もつとまうなりたい!と感じる力を『遊び』から提供していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	45	1			楽しく通っています 学校の時間割の関係で過ごせる時間が減り、続けられなくて残念です	今後も、利用者様に寄り添い個々に応じた支援を提供できるようにしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	3			満足していますとても気に入っていました 子どもに対しても保護者に対してもていねいに関わってくださっている 午前中から行けると助かる早療りの日も学校まで迎えに行っていて欲しい	今後も利用者様、保護者様の要望にできる限り応え、臨機応変に対応していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービス みそら		公表日		2026年1月19日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	1
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切である か。		7		子どもの状態を考慮し、 職員の配置を増やす などの対応を行っています。	無回答1 子どもの特性にもより、突発的に起こった対処 で、配置が少ないとたいへんな時も多々ある。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっている か。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化 や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	1	バリアフリーであり、ドアには、窓が付いて いるため、情報が分かりやすい構造になって います。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8		毎日の清掃で清潔を保ち、活動終了後の消毒 も毎日行っています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めら れる環境になっているか。		8		活動部屋以外に別室があり、必要に応じて使 用することができるようになっています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り） に、広く職員が参画しているか。		3	4	活動前に内容・目的を確認し、活動終了後に 振り返りを行うようになっています。	無回答1 会議の時間確保が難しく、共通認識、周知などノートを 活用しているが、話し合う時間をとるようにした方がよ い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。		6		年に1回アンケートと、評価表による事業所 の評価をお願いしています。	どちらともいえない1 会議の時間確保が難しく、共通認識、周知などノートを 活用しているが、話し合う時間をとるようにした方がよ い。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。		4	3	職員会議で話し合い、記録に残すことで全職 員に周知するようになっています。	どちらともいえない1 申し送りノートでの伝達がほとんどで、会議等は行われ ていない 送迎等もあるため、少し時間が無いように思う。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		3	4	実施できていません。	無回答1 今後検討して行きます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。		6		感染症予防の研修は年2回実施しています。虐待防止に ついては、児発管が参加した研修レポートを買い入れて います。研修情報については、回覧で周知しています。	どちらともいえない2 プログラム研修など、実践に即結びつく研修に参加したい。 MTの補助では入らせてもらが、具体的に字ばせてもらえる機会が欲しい。 実践的なOTのプログラムもしたい。STも取り入れたい。学ぶ機会が欲しい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		8		支援プログラムは定期的に見直し、公表して います。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計 画を作成しているか。		8		子どもと保護者の希望及び課題を分析し、半 年ごとに面談を行い個別支援計画を立案して います。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責 任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こ どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		7		子どもの発達の状況や課題について確認し、 認識を職員間で共有している。	どちらともいえない1
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援 が行われているか。		8		支援計画に沿った支援に努めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。		6	1	日々の様子は活動の記録に記載している。	どちらともいえない1 ツールを用いたフォーマルなアセスメントが 十分にできていない
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドライ ンの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、 「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい 及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に 設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		8		子どもと保護者の希望及び課題を分析し、半 年ごとに面談を行い個別支援計画を立案して います。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		8		年間、月間、週間の活動内容を立案し、意見 を出し合って活動計画を立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		8		毎月予定表を作成し、発達に合わせた課題と共に四季 折々の活動内容を取り入れています。積み重ねが必要な 課題や活動は、必要に応じて内容を固定化して行っ ています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		支援計画に沿った支援に努めています。	どちらともいえない1 作成は分かりやすくされているが、集団の中で個別(その子にとっての支援)まで行き届いていないのが申し訳なく感じる。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	1	活動前に、プログラム担当職員を中心に話し合い確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援終了後、子どもの様子及びプログラムの適切さ、改善点を話し合っています。	どちらともいえない1 できる時間では行なっているが、子どもを送り出す、掃除、記録で時間はかつ実に過ぎているため、なかなか難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		活動の振り返りは必ず記録し、今後の支援の改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		半年ごとにモニタリングを実施し、個別支援計画の見直しを行っています。状況に大きな変化があった時には、そのタイミングでモニタリングを行なうようにしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		組み合わせ支援が行えるようプログラムの内容を設定しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		活動内において、子どもの自己決定、自己選択の機会を作っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		児童発達支援管理責任者を中心に参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	児童発達支援管理責任者を中心に参画しています。	無回答1
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	太子町のトライアングル会議、しらかき特別支援学校のオープンキャンパスなどに参加しています。	無回答1
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			個別の関係者会議などに参加し、情報共有などを図っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		相談支援員への情報提供を丁寧に行っています。卒業後に、利用事業所からの照会等があれば、保護者とご本人の承諾を得て行うことができるようにしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		個別に開催される支援会議等に参加するようにしています。	無回答1
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	放課後等児童クラブへ送迎の際に、簡単に情報交換を行っています。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	西播磨地域の情報交換会に児発管が参加しています。	無回答1
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		毎回活動終了後には対面にて保護者に様子を伝えて共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	今年度は、高等学校、支援学校卒業生を主に対象として、保護者向けの、「障害基礎年金」についての学習会を行ないました。	無回答1
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時にいないに説明をするようにしています。また、玄関に、運営規定や重要事項説明書のファイルを設置しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		事前にアセスメントシートをお渡しし、記入内容についての確認を行なっています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		各自に半年に一度支援計画をお渡しし、ご覧いただきながら計画内容についての説明を必ず行なっています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		随時相談に対応するようにしています。また、毎活動終了時に対面にて状況をお伝えするようにしています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	1	児童発達支援については、昼食後、保護者同士で自由に情報交換ができるように、部屋の準備をしています。	どちらともいえない1
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		アンケートや評価表の結果に基づく支援方法等の見直しに努め、苦情については体制を整備し、第三者医院についての啓示を事業所玄関にしています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	1	毎月予定表を配布し、また事業所玄関入口に活動の様子の写真掲示しています。	どちらともいえない1
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		職員を雇用する際は、個人情報の取り扱いに十分説明を行ったうえで、個人情報にかんする契約書を徹底している。個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		写真、絵や文字提示、簡単な手話動作などで、現在のご利用者には対応しています。連絡ノートやお迎え時に保護者とのコミュニケーションをとっています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	地域の方を対象にした行事の実施はできていません。福祉相談について、のぼりを立てて周知を図っています。	どちらともいえない1無回答1
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		各種マニュアルを作成し、事業所内の閲覧可能な場所で管理しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		事業所及び法人にてBCPを作成しています。法人本部と連携して、年に2回の避難訓練と、消火訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		半年に1度アセスメントを行なう中で、家庭からの情報提供をお願いしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		半年に1度アセスメントを行なう中で、家庭からの情報提供をお願いしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		月1回、安全点検と感染症についての点検を実施しています。法人本部と連携して、年に2回の避難訓練と、消火訓練を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		緊急連絡先の届け出をしていただき、有事にはお互いに連絡が付きやすい体制を整備しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハットが発生した場合、必ず職員会で情報を共有した上で、早々に書類作成をし、回覧にて再発の防止に努めるようにしています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		外部講師をお招きし、虐待研修を開催している。また児発管は、中播磨圏域の情報交換会に参加しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8		現在、身体拘束が必要なご利用者が無いため、計画への記載はありませんが、契約書、重要事項説明書の中に虐待防止・身体拘束については記載しており、必ず説明をしています。		